



評価のポイント

CL-4.専門性の開発能力

【71-4.1】専門職業人と学びの支援①

1. 専門職業人としての看護職は、どのようなスタイルで、またどのようなプロセスで学びを育んでいくことが望ましいのかを考えてみましょう。

ノウルズやユング、コルブのスタイルを参考に研修者が学習支援者となった際に、自身が現在も学習者である、または過去にどうであったのかを踏まえて、望ましい学習スタイルをブレインストーミングすることが期待される。学習スタイルは様々なので、重要な点は学習スタイルには一つの回答はないということを認識することである。また、学習プロセスも様々であるが、他者決定型学習から自己主導型学習へ。そして、自己決定・相互変革型学習へと進化する、つまり、守破離のプロセスが成人学習者の一般的学習プロセスであると言える。しかし、これもまた、スタイルと同様に一つの回答はないことを認識することである。

2. 専門職業人としての看護職は、学んでいく上で、どのような能力を獲得すべきかを考えてみましょう。

専門的知識（テクニカルスキル）と横断的・汎用的知識（ノンテクニカルスキル）を学びながら自ら思考・判断・行動できる能力を養う（獲得）ことが望まれる。また、議論は、それは誰のためにそのような能力を育むのかという原点に関する内容も歓迎されるべきである。